

# EC フィルム上映会とワークショップ

2026年1月12日(月・祝)

映像のフィールドワーク「観る、やってみる」ワークショップ「世界のひもづくり」の巻

世界中の人の暮らしの技や習慣、衣食住の姿を未来に残そう！70年以上前に、そんな映像の百科事典を作ろうとした人々がいました。タイムカプセルの蓋を開け、みんなで旅をするようにそれらの映像を観てみましょう。今回はたくさんの映像の中から「ひも」にまつわるものを選びました。

どちらも  
入場無料

## 第一部 EC フィルム上映会

午前9時30分～11時50分

北新宿生涯学習館2F レクリエーションホール

演出なし BGM なしの複数の短い記録映像を繰り返し上映いたします。

どなたでも出入り自由

## 第二部

## EC フィルム上映とワークショップ

映像をよ～く観察。実際にできるかな？みんなで試してみましょう。

さまざまな方法で「ひも」を作る技に挑戦します。

午後2時～4時 (開場 1時45分)

北新宿生涯学習館2F レクリエーションホール

対象:小学生以上 定員:40名

申込み:12月7日から 北新宿図書館(カウンターまたは電話)

一緒にやってくれる人:EC 活用プロジェクトメンバー

下中菜穂さん、中植きさらさん

### ●下中菜穂さん

造形作家、もんきりや伝承切り紙、手仕事、行事の研究家、昭和のくらし博物館副館長。

江戸時代の切り紙「もんきり」と出会い、暮らしの中で息づいてきた「切り紙」や伝統的な「かたち」や伝承行事などを研究、私たちの今の暮らしの中に活かしていく活動を続ける。「アジア暮らしの暦プロジェクト」「旧暦カフェ」を主宰。映像の百科事典「エンサイクロペディア・シネマトグラフィカ」の活用など、「観る(知る)やってみる 問い続ける」実験的な活動を展開。



## エンサイクロペディア・シネマトグラフィカ=EC フィルムとは？

世界中の人の暮らし、生き物の生態を記録した映像の百科事典。1952年、第二次世界大戦が終わったばかりのドイツ・国立科学映画研究所から研究者やカメラマンが各地に赴き、民族学、生物学、技術科学の3つの主軸からなる3,000本強の貴重な映像アーカイブを制作しました。日本では1970年より下中記念財団が管理・運用を行ない、現在はデジタル化された約1,200本の映像貸出を行っています。